

漢書
地理志
卷九十五

阪部中藏先生著
馬場貢湖先生訂

點竄指南錄

尾陽

東壁堂藏

點竄指南錄序

夫理與數合符而不離得
其數則理不外焉蓋天地之
大也七政之錯行也宿離
交食千載之日至望兩可

道
點
竄
指
南
錄

算法點竄指南錄卷之四

武江

坂部勇左衛門廣胖 著

馬場金之丞正督 訂

用字和解

此書中不用由字のこみ限るを都く算ふ多くとり
あつふ字と出づ倍落成用いふ字義の大抵を訳す

高

刻あつふを教をり

實

わづやくをり

法

くけりやふんぼせり教をり
俗は目安くり

歸

或飯一々のわづやくをり

除

くけりやふんぼせり
わづやくをり

歸除

上ふあ

約

きもわづやくをり

因

一々の法をり

相因

ひのけの法をり

乘

けの教をり

算注點字原指南錄

三

東坡先生南錄

四

算法點竄指南錄卷之十

武江

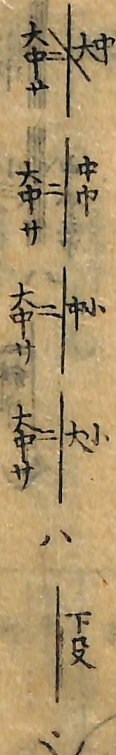
坂部勇左衛門廣胖 著
馬場金之丞正督 訂

百五十八術解

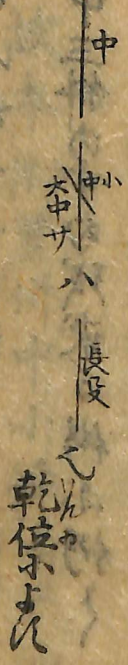
有大田内如圖容中一個年小月數個餘皆皆皆皆皆只由四至若干
小四星若干向隨少四個數湯大四星

大中差のさ半昇はんせい中小和ちゅうせうわ半昇相併内あひあせうち大小差おほいさ半昇はんせい減げん下げん余あま大おほ中ちゅう差さ

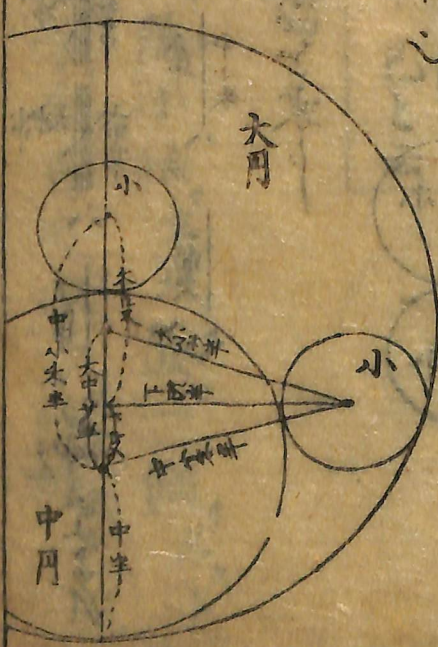
とん除のぞきおきぬ遍ひん異減いげん同加どうかうして
即三斜の短股と求む術まゝ



是こゝとん中小和半減ちゅうせうわはんげん下是げんとん中



下段げんと自來じらいしと是こゝを四よびし



真法點竄指南錄

五

算法點竄指南錄卷之十三

武江

坂部勇左衛門廣胖 著
馬場金之丞正督 訂

番外

招差法解

夫招差そくさ小累裁せうらいざい方程はうていの二枝ふたえだ可たり共ともよぶる所ところの數かずれ勿な然しか

是こゝとも可程法たかひりハ秘理ひり明あきらふ一ひとく會あはる一ひと易やす一ひと故ゆゑ

可程法たかひりを以もつて多おほく示しす

招差そくさハ數法すうぽう以其もつて枝えだを多おほく數かずの參差さんさ有ありし著しる

是こゝを求もとむに此この法ぽう法ぽう用もちゆ

後題法こうだいぽう

一いち次じお乘のりの題だいハ限數げんすう及其元積げんせき各おの二ふた限げんを云いを限かぎとす

明治八年十二月十四日版權免許

東京府故人

著述者

坂部勇左衛門

愛知縣平民

藏版人

片野東四郎

第壹大區四小區玉屋町
三町目拾五番地